



発行所  
西浦原郡  
巻町公民館  
発行責任者  
樋口弘雄  
印刷所 北神印刷株式会社

みんなで知っておこう

新しく巻町に設置された

# 町勢調査会

一、なぜ町勢調査会を作ったのか  
町や村で行なう仕事は、地方自治法で住民の福祉、健康、安全を基に、道路、橋、学校、農業開発、都市計画など二十余の項目に細く示されていますが、社会が進歩し複雑化してきますと、町村役場のしごとが中々多岐に亘って参ります。

しかも、近代産業の影響や高度成長の国策が巻町にも大きく及びてきますので、その年毎の政策や当面の処理だけでは、立派な町村行政や事務処理を行なうことが出来兼ねるすう勢になって参りました。

巻町ではこの社会構造の変革に対処し、より良い町づくりのため総合的な計画をたてる前提としてこの会がつくられたのです。

か

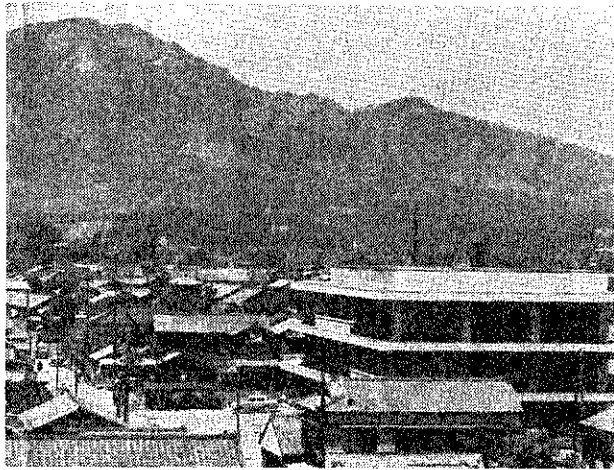
一、調査会はどこなことをするのか  
どの町にも、どこの村にも辿ってきた過去の足あとがあります。この足跡を知らずして立案も着工

も出来ません。  
まず巻町の置かれている背景を確実に把握して居らねばなりません。役場の企画課で苦心して蒐集し統計に出している、いろいろの資料はそのためのものなのです。次に、現況の把握と分析があり

ます。しかもこの現況は単に巻町のみをみつめることでなく、臨海工業地帯として既にすべり出している新潟、低開発地帯として、国の援助を求めようとしている吉田以南の海岸農村地区との関連の上で巻町を分析したり、広く経済界の推移や巻町の人口動態を近代産業の動きの中でつかんで行く大切な仕事もあります。これが、これから巻町がどう伸びたらよいかを決める大きな基となるので、調査会として最も重要なことです。

か

一、調査会は何を目的としているか  
町長さんは十年近く町政を担当した体験から、社会の変革に対処した基本方針を見出し、これに沿った長期計画をたてたい、と言



た町長さんの意図もここにあるわけです。最近の経済動向は都市中心の傾向にあるが、農業を主体とした巻町は今後どうあったらよいか。若い

人達の都市流出を喰いとめ、所得格差のない安定した生活の出来る方策はどうあったらよいか。観光資源に恵られている巻町はどう伸びたらよいか。町長さんのイメージや計画は数多い。この夢や計画を実現するために町の背景や現況を調査会に資料として提供し、町長の諮問に答申して貰うのが目的です。換言

すれば、この町を診断し、進む方向を答申していただくわけです。

一、この会の委員は誰方ですか

- 新大理学部長 西田 彰一
- 新大農学部長 榎本善一郎
- 新大助教 佐藤 元重
- 国鉄越後線管理所長 佐藤 重雄
- 国鉄支社企画室長 田村 栄蔵
- 新潟日報巻支局長 吉田 清
- 西浦新報社長 高田弥雄司
- 蒲原タイムス社長 小林 幸雄
- 下越新聞社長 湯田 一志
- 学識経験者 竹内十次郎
- 農業教育センター長 小山 幸一
- 新潟県企画課長 斎藤 順作
- 観光課長 藤井 正弘
- 道路課長 富川 清
- 計画課長 多田 博
- 企業振興課長 山田 利広
- 農業構造改善課長 山本 哲
- 巻保健所長 矢野 遠夫
- 農業団体代表 佐藤 典夫
- 三沢 博人
- 商業団体代表 笹川 山一
- 田辺 傳蔵
- 竹内 敏栄
- 有田 正悟
- 中野 文作
- 山本 彦衛
- 鹿兒島秀一
- 小林 市平
- 村松 次一
- 有坂 四郎



△稲刈りの賃金が一躍四割も上がったと騒がれているが、それでも人手は引つ張る風である。  
△刈った稲を運んでハザに架けるのに一反二千円出すから...と頼み歩いても人がいない、とぼしていた人もある。  
△これでは一反の稲を刈ってハザに架けるだけで、米一俵分が飛んでなくなる。  
△実際に一日二千円の日当を払えるような稲刈りなんてどこにもないんだが...

△一日も早く秋の仕事を終って出稼ぎに行こうとあせっている農村自身が、こんな矛盾を生んだようだ。  
△秋が終われば、四百円か五百円で投げ売りする農家の手間に過ぎないんだが...

△こんな馬鹿気切ったことではと、稲刈り機械なら何でも探して買っているという人さえ出て来た。しかしまだ、ものになる機械を見つけたという話を聞かない。

△ところが農村の機械化はとかくこんな農家の感情の中から生まれて来るのでなからうか。即ち機械化資乏とは...

△農村の出来ごととはとかく感情で処理され易い。経済はあくまで計算であるのに。

△合わない手間を取り「げんか」で漁るような農村を、巧みに作り替えることこそ構造改善ではないのだろうか。

# 私は町勢調査会にこう望む

町勢調査会は別掲のとおり委員の委嘱を終り、九月十一日初会合が開かれた。私達町民は協力を惜しまないが、次に各層の期待と意見を寄せて戴いた。

## 道路と東西堀の整備を

家庭主婦

今回各界を網羅した町勢調査会が出来たことは新聞で知りましかれど、いったい何をすればよいか、よくわかりませんが、読んで字の如くに解するならば、町をどのようにしたら発展するかと、このことを調査する会だと思えます。

それでその会に望みたいことはまず第一に道路の整備拡張、東西堀の整備、西川の橋を上と下につけること、などお願いしたいのです。それと大雨が降ると家の下や道路に水が上る所が方々にあります。したが、下水の完備というのを、もっと重大に考えてほしいと思えます。

東堀 西堀の場合は防火用水としては本当に大切なのですが、いくら当局で「ゴミヲ捨テナイデ下サイ」と立札を立てたり、回覧板を廻したりしても一向にきき目が来ないようですので、マンホール式にすれば道中も広くなるし「ゴミ」も捨てないで済むと思えます。旧花火工場の土地を団地にするのもよいことだと思えます。今は草がぼうぼうと生えてあたり迷わくです。工場誘致も結構だと思えます。

とにかく何をすることも動けば金の時代です。大変な仕事だと思えますが、大いに町の発展を考えて頂きたいと思えます。(十一区 久保田トシ)

## 西山を開拓せよ

青年

現在の農業の機械化、生産の省力化はたくましい勢いで進歩している。そして、これからはまた止まることを知らないであろう。それが農村に一層余剰労働力を増やし、いままでも増して農閑期の季節出稼を盛んにすることは必要である。しかし、その出稼といえ、いつクビになるかわからない不安定な職場で安い賃金に使われているのがほとんどである。こういう形で進んでいった場合の農村の将来は非常に危険であるといわなければならない。我々は一日幾らの日当を稼ぎに出る日暮し労働はしたくない。経営の拡大されたもっと希望のある農業をやりたいのだ。

その希望を僕は巻町に於いて西砂丘山間地を生かすことに託したい。現在これらの山林に育てられている松、杉は一代に一回金をみれば良い方でその生産価値は低い。こうしたことから、ほとんど

人の手が加えられず自由無法に雑木が生え茂っている所も数多い現実である。この山間地を開拓すること、それは今や発達した土産技術から考えれば易いことと思う。ブルトナザで山を切り崩し、広々とした原野が開けた時そこに生かされる何物かがあると思う。そこに何を始めるかは僕にも確信を持っては居ない。しかし、あらゆる専門的見地から調査研究していけば必ずそこには発展の可能性が潜んでいると信ずる。大々的な果樹園、あるいは北海道に見るような大なる放牧場か、それは今後の研究課題であり、また町勢調査会に期待する所以でもあるが、すでに木島、竹野町、仁箇の一部には大規模な土の採取が行なわれており開拓への糸口が開けたともいえる。

今こそ我々は西部山間地の開拓に目覚めるときであると思う。そして我々は不安定な季節出稼を断ち切り、そこに働く精力をつぎ込みたい。

## 商店街の美化、近代化を

商店主

委嘱された委員各位は、それぞれ専門的知識を傾けて研究討議され立派な成果を得られるよう希望する。実施に当たっては、町民の協力なくしては実現不可能と思うから、どの程のPRすべきだ。

各商店は勿論、商店街としても自身で努力することが必要である。幸い商店の店舗改装が進み、商店街活動も活発で新型水銀灯を建設し美化、近代化につとめているが町当局の積極的な指導を期待したい。近代的な商店街の体裁としては、アーケードと駐車場は欠くことは出来まい。

## 砂丘地農業の立場で

農業

砂丘地農業が振興してゆくためには、灌漑施設の必要なこと、誰れもが知っていることであるが、かつて当地の大げさな灌漑事業で町にも迷惑をかけ、部落としても大きな痛手を受けたことは、安易な考えや、机上の設計に簡単にのれないことを教えてくれた。

越前浜、角田、四ツ郷屋地区が、どんな過程をたどって、現在どうなっているかは、地区の人達に勿論、町当局の方々も、よく知っておられる筈である。団地灌漑や、集団での事業を起す危険を冒して、個人個人が井戸を掘り、発動機で自分の畑に灌水している姿を認めていたとき、

既に、角田の観光、海水浴地として、大きく脚光をあびた実例もあり、平坦な海岸線の越前浜も、今年の試みで自信を得た。けれども地域の振興は、限られた期間や、限られた人だけのものでは、ならない筈である。県や町の政策の上で大きく打ち出され、之に地元も呼応してこそ地域なり、産業なりの振興が実を結ぶのだと思う。

今、私達の地域から、新潟に通動している人の多い事を知ってほしい。海岸無雪道路が出来て家族が別れ別れになって生活する出稼から解放され、不合理な暮らしから脱け出すことを、どんなに望んでいるかを知ってほしい。

また具体的な計画に着手されていない様だが、新潟農園の今後にも私達は大きな関心をもっている。漁業はご覧の通りだが、あさり、はまぐり、やり方によって将来性のあるものかと思える。かつて農業の八〇%をしめていた西瓜が、不安定作物として、年々反別減少していることや、煙草に力を入れる人の多くなった現況や毒消し売りがマスコミの影響で、年輩の者になっていく村の姿を知って貰いたい。

# 全国青年大会に出場

巻町大字松野尾 横山 はる江 (二六)



## グループ紹介

隼会 (はやぶさかい) 阿部 善治

我々は農村とも漁村ともつかない中途半ばな浦浜部落に住んでいます。こんな部落には生活も保障されず大部分の人は東京、北海道方面に出稼ぎに出かけるためお盆と正月を除いては部落内はひっそりとしています。

去る八月二十三日、柏崎市において開催された第十二回新潟県青年大会兼第十三回全国青年大会新潟県予選会に、西浦原代表選手として、女子走高跳に出場、一米三五の記録をもって優勝し、来る十月東京で開催される全国青年大会に新潟県代表として派せんされることに決定、今忙しい稲刈りの時機で体の調整が全く出来ないとい

でもどんな場所でも昔から良く言う「住めば都」で決して我々は不安な気持ちで毎日を送っているのではあります。正月やお盆になると出稼ぎの同級生、先輩、後輩が帰って来て大勢でわいわいさわいしたりして我々には又とない楽しみです。出稼ぎ先で集った者だけでグループを作り、郷土との連絡や情報交換し合っているたりして、そんな話を聞いたり見たりしているうちに部落に残された者だけグループ活動をしてみたいという気運が昂つてきました。

横山さんは、今年の四月浜松中学を卒業後数少ない農村青年として、兄弟姉妹を助けるが農業に従事し、青年団、ラジオ農業学校等青年運動にも活躍している。自宅に訪ねると、スラックとした長身に(一米六二)日焼けた顔をホコロボせながら、「スポーツはなんでも好きで、走り高跳には中学時代、全国中学校放送競技にも出場した事がありますが、県代表として全国大会に出ることは始めてなので心配ですが、代表に選ばれただけでも嬉しいです。ベストを尽くして来ます」と喜びをかく

そこで一人寄り二人寄り話し合っているうちに残村の若者達で、自然に「会」をつくる事にしました。そしてその名を日本でも数少ない鳥、雀が磯辺に巣を作っているのを思い出しその名を「単会」と名づけました。活動の方もすくまどまりが

り、今では順調に動いています。月の集金を三回に決めて二回は先生を招いてペン習字を、そしてあとの一回は、レクリエーションに当て、将棋、卓球、レコード鑑賞、等色々の事をやりながら結構楽しい「集り」になって来ます。今後は活発な活動をすると共に読書等の時間を設け色々勉強し現代青年として恥かしくない教養と知識を身につけるよう努力したいという気持ちでいっぱいです。

## 巻町ハイキングクラブ

久保田靖文

空気が澄みわたたり、山の姿がクッキリ浮ぶ。わたくし達には、一年中で一番楽しい秋がきました。この町には、ハイキングクラブが

## おらが老人クラブ

ニコニコクラブは昨年の六月七日、田植えもすっかり終わった頃、部落民の盛大な祝賀を受けて発足した。現在町内で三十四の老人クラブが結成されているが、その一番に名乗りをあげたのがこのニコニコクラブである。だが別にそれを意識した訳ではない。数年來部落の婦人会と公民館が老人達の集りや計画し、ご馳走を接待し、睦み親睦会をもってきた。近年、青年学級だ、婦人学級だ、と、若い人達が家を出てゆく一方、新しい時代にとり残された家の中にじこもってしまっている老人達の世界に新風を吹き込むことをねらったのが老人のついでであった。会合を重ねて

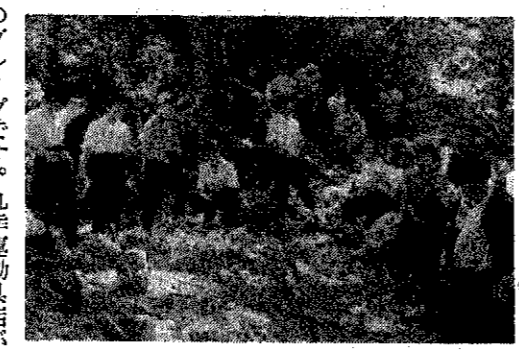
## 仁箇ニコニコクラブ

巻町大字仁箇 会員五十一名

まとまり、いわばそのモデルケースとしてはなほ不足している。ニコニコクラブの名づけの親は区長であり、こうした部落の気の流れもあつた。土地の成功者、東京の五十嵐惣一氏が、遙か声援を送り、毎年八十才に達した老人に杖を贈ることになって、老人達を喜ばし

あつて、みんなこの季節を待ちこがれております。会員は、現在二十五名で、内女子が十名です。年の会費五〇〇円、なるべく経費のかからない楽しいハイキングや登山を続けています。このクラブが生れて一年半程になります。クラブには、一寸過ぎた登山をやったこともありますが、年間の行事は、やはり角田山へ登ったり海岸や山麓をハイキングしたり、時にはキャンプを行うこともあり、気軽に日曜の一日を、若い仲間、自然の中に、野外活動で過ごすよこひは、職場での苦勞も生活の煩わしさも忘れさせてくれます。このクラブは、どなたでも気軽に加入出来るわたくし達若い者

た。会長には田中榮八さん(明治二十四年生)が選ばれ、適任者を得て、その活動は地についている。月岡(ルスカセンター)、弥彦温泉、寺尾農園、新潟ビーチセンターと行楽はもちろん事を欠かさないが、社寺の清掃、献灯、雑布、竹箒をつくって小学校へ贈ったり等々社会奉仕活動も仲々活発。公民館の浪曲スライドも全部見つけて、すっかり種切れになったと館長さんも苦笑している。ともあれ、ニコニコクラブの活動が、とかく現実主義でせち辛くなりながら部落の人達に受け入れられていく。祭に神社の石段が立派に完成し、公民館も移転改築し新しい装いをこらしたので、老人達の集りも、より楽しいものになってゆくことだらう。



のグループです。丸幸運動具店が事務所になっています。巻町の若い皆さんご加入下さい。

### 学校給食センター建設工事始まる

管内小、中学校児童、生徒の学校給食を共同調理する学校給食センターは、はじめ九月(第二学期)より開始の予定でありましたが新潟地震の影響に加えて巻小中PTAより位置変更の願い出がありましたために、折衝に日を重ね開始が遅れておりました。

しかしながら御存知の通りPTA側の了解も得、今回筒井組の手

### その後の町 堀山団地

巻町の市街地は、西川と鉄道が接近する一区の南側に拡がり、三角形の形態をしており、昭和二十八年に三角形を四角形の都市として發展すべきであるとの都市計画の指針が発表されたが、その後町村合併等、諸般の状況の変化もあって、今日迄具体化し得なかつたが、前述するように三角形の底辺附近の宅地化が急速に進み、更に開發されつつあるが、それはそれとして尚今日の宅地需要増となるに及んで昨年十月より住宅団地の造成を計画し、指針に基づくものとして堀山団地の南側に約三万一千四百平方メートル(約九千五百坪)を買収、本年六月より埋立てを行ない八月には完了、九月に入って道路及び排水溝の入札も終り、十月末頃より建設の音も聞かれる状態となった。

団地内は主道路として巾員六メートル以上の道路に接し、約一千二百

平方メートルの遊園地が団地の稍中央にあり、百四十五区画の宅地は二年以内に建築することの条件で全部決定しており、電気、水道、瓦斯も建築状況と相俟って工事が行なわれることになっている。

分譲申込について町内外に公募し、申込んだ方は二百名で、これを公平な抽せん分譲者を決定したものである。

### 拓本展・鎧冑展など

—今年度の文化祭—

秋の気配が日一日と感ぜられると共に、公民館の年中行事の花形、文化祭のことが話題にのぼっている。

既に巻町公民館では、郡内碑文拓本展と鎧冑展を開くことに決まり、碑文の現地調査を今年中に終わる予定で、郡内の研究家に委嘱の作成を終わり、来月はその目録の作成と選択、拓本の採取にとりかかる。

なお鎧冑展は千拓工事完了の年であり、教育委員会が実施した過去五ヶ年の総合調査によつて得た魚貝類、鳥類、植物、昆虫等の標本、記録に残る古い写真、新聞、古地図や、民具、関係文獻などをあつめ、又、工事写真と共に一堂に展示します。関係のある資料を保存されている方があつたら、是非ご出品をいただき度いと思ひます。

この外洋画、華道、盆栽等、各種文化団体、グループの作品展、発表会などは、いづれ近日中に会議を開き決定する予定です。

また、今年も農繁期になりましたので、右の点にご注意頂き幼児の水死事故防止にご協力下さい。

### 拓本講習会に

参加下さい

日時 九月二十七日午前九時より

集合場所 巻町公民館

実習場所 巻町妙光寺

講師 本田久平先生

なお参加申込みは二十五日迄巻町公民館へ申し出て下さい。(携行すべき用具や、その作り方にはプリントを用意してあります。)

### 10月は保険税完納月間です

#### 保険税を完納しましょう

国民健康保険予算の支出の八〇％は医療費です。医療内容の充実と世帯主の七割給付の実施等で、医療費の支払いが非常にふえました。医療費の支払いは国からの補助金と保険税で賄われていますが、現在までの納税状況は良好とはいへません。特に10月を保険税完納月間と定め、期限内納入について皆さんの一層の御協力をお願いする次第です。

あすの健康国保が守る 国保は身のため人のため

「赤い羽根」共同募金 巻町共同募金分会 についてのお願い

「赤い羽根」共同募金運動もこととして十八年目を迎えることになりました。

例年多大のご協力を頂き有難くお礼申し上げます。

ことしも来る十月一日から、全国一斉に展開されます。

巻町共同募金目標額は四八八、九〇〇円と決り、昨年より二一、八〇〇円の増となります。(二戸平均八十六円位)

### 巻町国民健康 保険病院より

診療科	診療担当	診療日
内科	筑波 朗郎	日曜休日
外科	松浦 徳雄	を除く毎日
小児科	今井 哲也	日
皮膚科	貝津 徳男	日
泌尿器科	今井勝十郎	日
放射線科	田中 稲実	日
産婦人科	青木 智	日
眼科	田中 隆	日
皮膚科	竹内 英夫	毎日午前
泌尿器科	田子 元	中のみ
放射線科	渡辺 梯三	毎週火金
一、入院の際は完全寝具(寝具を保持する必要があります)完全給食、完全看護を行なっています。		